

# 留学体験レポート

情報文化学科 2年 青木弘文

本レポートでは、ウラジオストクの観光地と料理を紹介していく。私が初めてロシア人学生に連れて行ってもらったのは、ルースキー島にある極東連邦総合大学だった。経済サービス大学と比較すると、あまりにも規模が大きく、とてもきれいなキャンパスで驚いた。しかし、周辺には大学と寮以外の建物はなく、スーパーやカフェなどなにもなかった。夏の間はきれいな噴水や海を見ることができる。

街の中心部には多くのカフェやデパートがある。個人的にはロシア料理は美味しいものが多かった印象がある。また、店員はロシア人だが寿司やラーメンをメニューに出している店もいくつかあった。

ウラジオストクは中国人が多いため、中国人市場が活気に溢れている。休日はよくここへバスに乗って出かけた。市場にはロシア語を話す中国人の店員が服や靴、帽子などを売っていた。他にも理髪店やゲームセンターがあった。私たち留学生がよく利用したのが中華料理店だった。値段が安く、料理も美味しかった。

ただし、良いことばかりではなかった。大学の近くにある韓国レストランに行ったときのことだ。友人が「カルビ」と注文したのに、後から出されたのは何故かビールだった。よく確認するとビール瓶には「ハルビン」と書かれていた。どうやら自分たちの発音では店員に上手く伝わらなかったようだった。店員も私たちにロシア語が通じないことに対して苛立っている様子だった。しかし、これも良い経験になったと思う。

他には、巨大な連絡橋を眺めることができる展望台がおすすめの場所だ。ここにはロシアのお土産屋があり、いろいろな雑貨が売られている。夜になると連絡橋と町全体が明かりで灯されて美しい。

私が一番印象に残っているのは、やはりヨーロッパ風の建物が立ち並ぶ街全体の情景だ。街をただフラフラと歩くだけでもいろいろな発見があって刺激的だった。ウラジオストクを楽しむのに4カ月という時間は、あまりにも短すぎた。まだまだ、多くの観光地はあるのだが、紹介しきれないので興味のある方はぜひ自分の目で確かめてほしい。

